

キーワード

デザイン，感性価値，感性計測評価

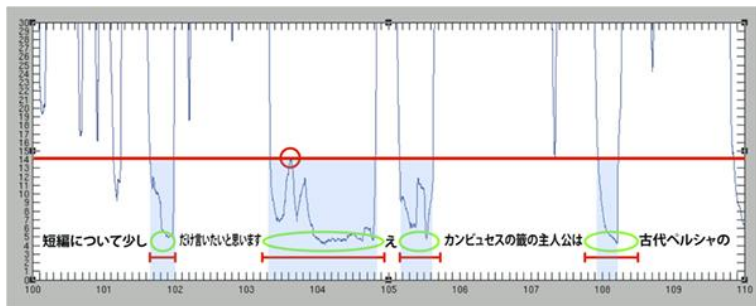
研究概要

デザインはユーザーにとっての問題の解決，満足度の向上，新たな価値の提案などを目的とし，対象となるユーザーの特性やニーズの分析にもとづいておこなわれる。

本研究課題では，とくに主観的でありまいな要素であるユーザーの感性に着目し，たとえば，アンケート調査やインタビュー調査のような方法で得られる主観的指標と行動観察や生理計測のような方法で得られる客観的指標を複合的にあつかった実験デザインやデータ分析など，感性価値を適切に計測評価するための手法を研究している。



視線計測を活用した空間デザイン評価の例



聴衆に支持される演説の「間」の特徴分析の例

応用例・用途

デザイン評価，ユーザー調査，感性計測評価のための実験デザイン

